

ボーリング柱状図

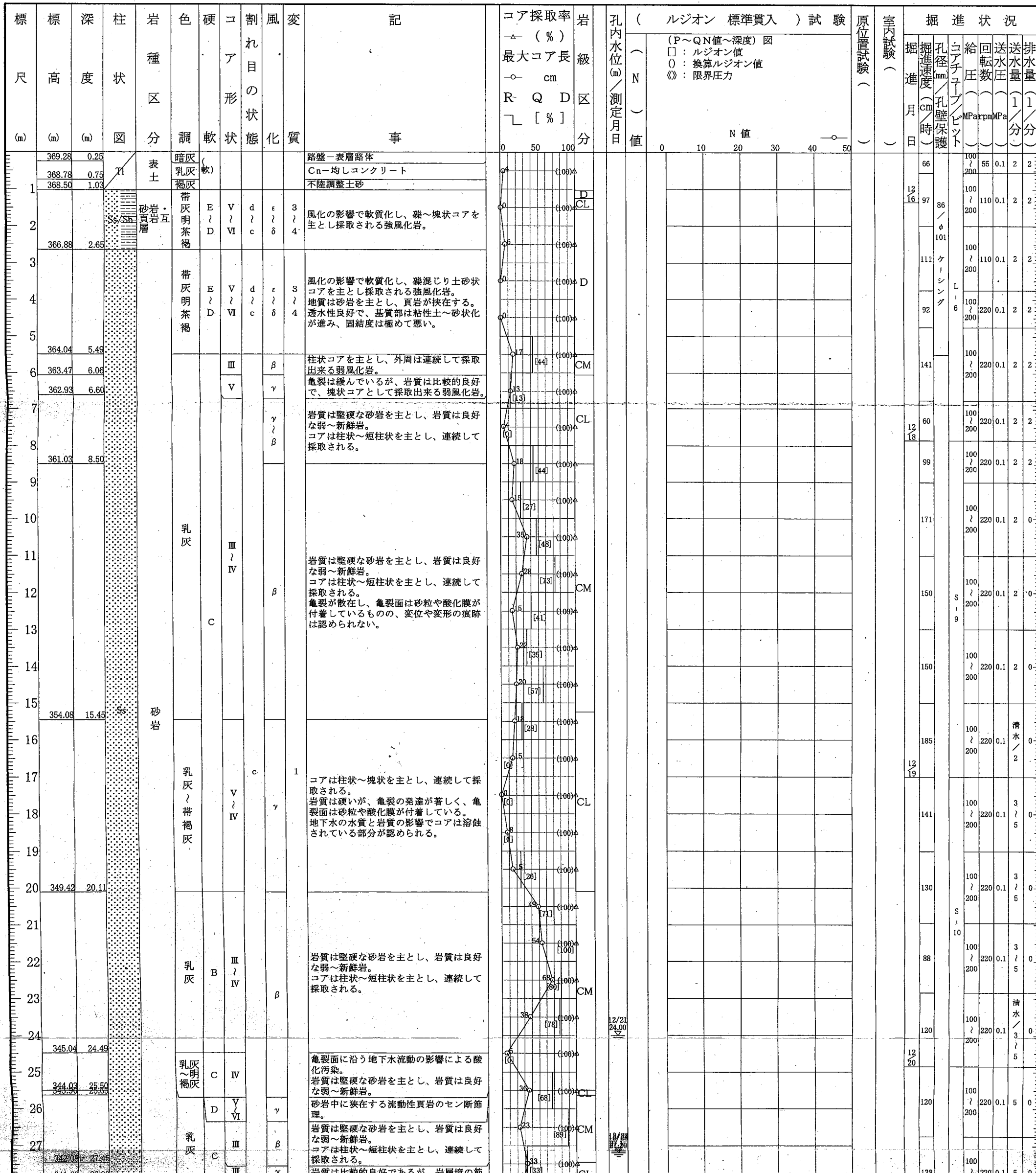
調査名 災関2-3-委1 災害関連緊急地すべり対策事業

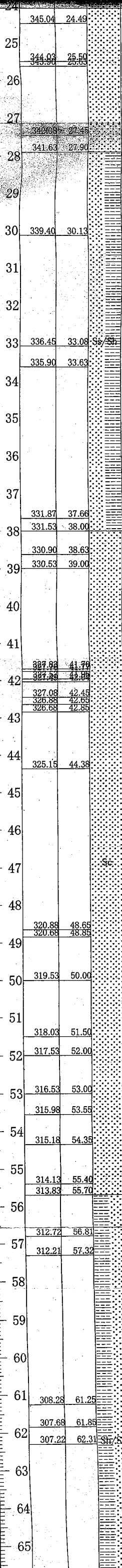
ボーリングNo

事業・工事名

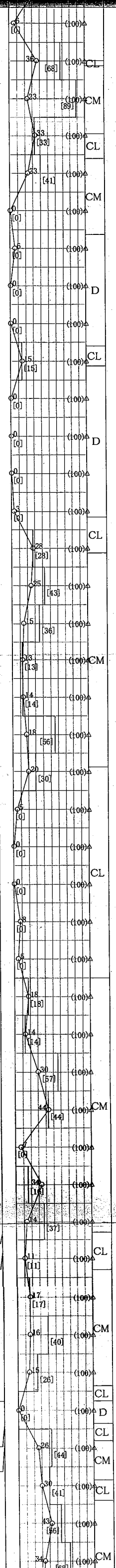
シートNo

ボーリング名	A-1		調査位置	奈良県吉野郡十津川村宇宮原			北緯	34° 7' 13.1"	
発注機関	五條土木事務所				調査期間	平成 24年 1月 31日 ~ 24年 5月 31日		東経	135° 46' 11.7"
調査業者名	日本工営株式会社 大阪支店 電話(06-7177-9504)		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	369.53m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 エンジン
総掘進長	70.00m	度	0°	向	0°				OE-8 NFAD12 ポンプ CP-40





345.04	24.49	乳灰明褐灰	C	IV				亀裂面に沿う地下水流動の影響による酸化汚染。 岩質は堅硬な砂岩を主とし、岩質は良好な弱～新鮮岩。 砂岩中に挟在する流動性頁岩のセン断節理。
344.03	25.50		D	V	VI		γ	岩質は堅硬な砂岩を主とし、岩質は良好な弱～新鮮岩。 コアは柱状～短柱状を主とし、連続して採取される。
342.08	27.45	乳灰	C	III			β	岩質は比較的良好であるが、岩層境の節理が生じている。
341.63	27.90			IV			γ β	
339.40	30.13	乳灰～暗灰	C	IV	III	c	γ	3 砂岩と頁岩が互層をなし、岩質はやや軟質となっている中風化岩。 コアは柱状～短柱状をなし、亀裂面は酸化して砂粒や酸化膜が付着している。 30.13m 層理面 θ=30°
336.45	33.08	暗灰～褐灰	E	VI	V	d	ε	3 地層は粘土混じり砂質土を基質とし、角礫を混在する土砂状を呈する。 土質は含水して酸化し、締めりや固結度は弱い。 礫は岩片～塊状で、淘汰は悪い。
335.90	33.63	暗灰	C	IV		c	γ	2 33.08～33.63mは軟弱土層内に残存して短柱状コアを呈する中風化岩。
331.87	37.66	暗灰～褐灰	E	VI	V	d	ε	3 36.40m 節理面 θ=40°、36.80m 節理面 θ=50°
331.53	38.00		C	IV		c	γ	3 酸化により岩質はやや軟らかく、褐色色調に汚染されている。 38.50m 節理面 θ=40°、38.60m 節理面 θ=30°
330.90	38.63	暗灰～褐灰	B	III	IV		β	α 柱状～短柱状コアを主とし、外周はほぼ連続して採取出来る弱風化岩。 岩質は硬く、良好である。 亀裂面は酸化し、酸化膜や軽微な砂粒の付着が見られる。
330.53	39.00	暗灰～褐灰	D	V		c	γ	1 岩質良好な弱風化岩。
327.08	42.45	暗灰～褐灰	C	IV		b	β	α 45.00～48.50m 撓みとセン断節理の発達している風化岩。
326.88	42.55	暗灰～褐灰	D	V		c	γ	3 節理面に沿った風化により礫混じり土砂状コアとなっている。 48.64m 節理面 θ=60°、48.82m 節理面 θ=50°
326.68	42.85	暗灰～褐灰	C	IV		c	γ	3 節理の発達した風化岩。 49.58～50.00m 破壊しているセン断節理。 岩質は堅硬・良好であり、柱状～短柱状コアとして採取される弱風化岩。
325.15	44.38	暗灰～乳灰	B	III	IV		β	α コアは柱状～短柱状を呈し、ほぼ連続して採取できる。 岩質は良好で堅く、外周はほぼ連続している弱風化岩。
320.88	48.65	暗灰～乳灰	C	IV		b	β	α 砂岩と頁岩との互層に伴う節理が発達している。
320.68	48.85	暗灰～乳灰	C	IV		b	β	α 短柱状コアを主とし、外周はほぼ連続して採取出来る弱風化岩。 岩質は良好で堅硬である。 岩片～角礫状コアを主とする強風化岩。 57.30m 節理面 θ=20°
319.53	50.00	暗灰～乳灰	D	V		c	γ	3 塊状～短柱状コアを主とし、外周はほぼ連続して採取出来る弱風化岩。 頁岩と砂岩が互層し、節理面の発達が著しく、頁岩層はやや軟質となっている。 57.75m 節理面 θ=40°
318.03	51.50	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 節理に沿って砂状～岩片状コアを主としており、岩質は軟弱である。 61.40m 節理面 θ=30°、61.80m 節理面 θ=50° 節理が発達して岩片状コアを呈し、岩質はやや軟質となっている風化岩。
317.53	52.00	暗灰～乳灰	B	III	IV		β	α 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
316.53	53.00	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
315.98	53.55	暗灰～乳灰	B	III	IV		β	α 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
315.18	54.35	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
314.13	55.40	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
313.83	55.70	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
312.72	56.81	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
312.21	57.32	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
308.28	61.25	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
307.68	61.85	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。
307.22	62.31	暗灰～乳灰	C	IV		c	γ	2 岩質は良好で堅硬であり、柱状コアを主とする弱風化～新鮮岩。 岩種組成による流動差異に伴った生成面に沿う節理が一部で生じている。



12/20	120	100	220	0.1	5	0	
138	185	100	220	0.1	5	0	
135	165	100	220	0.1	5	0	
170	160	100	220	0.1	5	0	
168	166	100	220	0.1	5	0	
75	129	100	220	0.1	5	0	
143	129	100	220	0.1	5	0	
86	104	100	220	0.1	5	0	
120	152	100	220	0.1	5	0	
147	133	100	220	0.1	5	0	
93	143	100	220	0.1	5	0	
104	98	100	220	0.1	5	0	
150	77	100	220	0.1	5	0	
103		100	220	0.1	5	0	

[illegible]